

7月7日（土） <進路セミナー>

演題 「事業所の現状と家庭や学校に望むこと」

講師 障がい福祉サービス事業所・障がい相談支援事業所 コパंकラージュ

主任 菅野 トモ子氏 就労移行サービス管理責任者 佐藤 靖子氏

コパंकラージュの事業内容の紹介と、事業所職員からの視点で学校の保護者と学校に望むことについてお話をいただきました。就労を目指すにあたって、年齢や子どもの発達段階に応じて「身につけて欲しい力」があるという説明がありました。小学部の段階では「遊び」を通じた「コミュニケーション手段やルールを理解」、中学部の段階では「働くことが生活の一部としてあるという意識の向上」、高等部の段階では「働くことの意味を考え、行動する力」が大切であり、これらの積み重ねが将来の「楽しみながら働く」ことへとつながり、「働くことが生活の中にある自分らしい生活」となることをお話いただきました。



10月19日（金） <講演会>

演題 「知的障がいのある児童生徒の各教科の指導の在り方～学んだことを生活に生かすために～」

講師 植草学園大学教授 名古屋 恒彦氏

知的障がいのある児童生徒が学んだことを生活に生かすために、各教科の指導をどのように充実させていけば良いのか「新しい学習指導要領と知的障がい教育」特に「各教科等を合わせた指導」について深く掘り下げてお話をいただきました。また、指導にあたっての「通常の教科との連続性」等の留意点、授業作りのポイントとして「テーマは一つ、活動は多様に」「力をつけるよりも、力を発揮できる状況づくりに意を注ぐことの重要性」等についても、名古屋先生の実体験を交えて分かりやすくお話をいただきました。



7月25日（水）〈実技研修〉

講座Ⅰ

「はじめてみようケース会議」

「大人が困ったと感じる子どもの行動は、子どもが何につまづいて表れているのか」グループで話し合い考えることで、多くの支援策が出てくるケース会議の方法を学びました。

講師：本校教員 増川 香



講座Ⅱ

「防災食を作ってみよう

～レッツクッキング～

災害後でも温かいご飯やおかずを衛生的に食べられる備えについて学びました。災害用炊飯袋（ハイゼックス）を使って実際に調理実習を体験しました。

講師：本校教員 大原 恵美子



講座Ⅲ

「障がい者スポーツ

～ボッチャを楽しもう～

障がい者スポーツのボッチャ競技の基本を知り、身体を動かしたワークやゲームを通して、チームづくりやチームで行う体育の授業づくりについて学びました。

講師：本校教員 堀 豊・高住 博貴



講座Ⅳ

「すぐに使える簡単制作教材」

生活単元学習や図画工作においての制作活動で、身近な材料を使ってできる題材や教材を作品制作の体験を通して学びました。

講師：本校教員 鈴木 健治

